

平成29年度 島田市総合計画市民意識調査の結果について（報告）

表題について、以下のとおり調査を実施しましたので、結果について報告します。

1 調査の概要（報告書 p.1）

市民意識を調査し結果の経年変化を分析することにより、施策の評価や総合計画の進捗管理のための基礎資料とすることを目的とする。

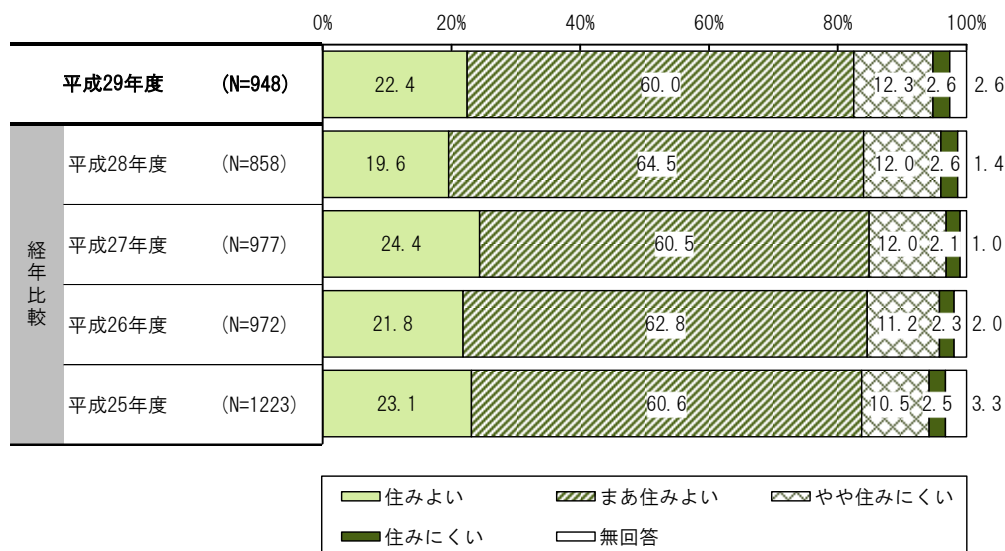
調査対象：市内在住の20歳以上の男女2,500人	実施期間：平成29年6月9日～7月10日
調査方法：郵送調査法	有効回収数：948票（前回858票）
抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出	有効回収率：37.9%（前回34.3%）

2 調査結果（報告書 p.3～9（概要）、p.11～）

●島田市での暮らしについて（報告書 p.14～）

✓島田市の住みごころについて、82.4%が『住みよい』と回答しています。【問7】

「住みよい」22.4%、「まあ住みよい」60.0%を合わせると82.4%となり、前回調査結果（84.1%）と比較し1.7ポイント低くなりました。しかし、平成25年度以降、8割を超える割合を維持しています。



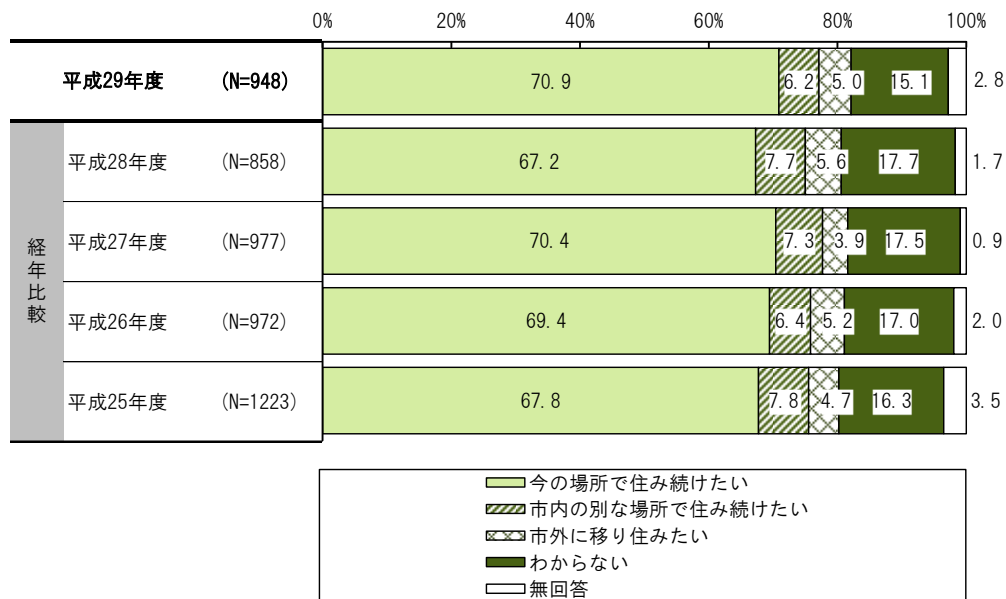
※県内他市調査結果（参考）

- ・藤枝市…『住みやすい』79.1%(H26) 「あなたにとって藤枝市は住みやすいですか。」
「たいへん住みやすい」32.4%「やや住みやすい」46.7%
- ・焼津市…『暮らしやすい』64.1%(H28) 「焼津市は暮らしやすいところですか。」
「暮らしやすい」25.8%「どちらかといえば暮らしやすい」38.3%
- ・菊川市…『住みやすい』60.4%(H29) 「菊川市は住みやすいまちだと感じていますか。」
「住みやすい、どちらかといえば住みやすい」60.4%
- ・掛川市…『住みやすい』80.0%(H29) 「あなたにとって掛川市は住みやすいところですか。」
「とても住みやすい」18.9%「どちらかと言えば住みやすい」61.1%

✓『これからも島田市に住み続けたい』と回答した割合は77.1%で、前回調査（74.9%）と比較し2.2ポイント増加しました。【問8】

「今の場所で住み続けたい」70.9%、「市内の別な場所で住み続けたい」6.2%を合わせると、77.1%となり、前回（74.9%）と比較し2.2ポイント高くなりました。

一方、「市外に移り住みたい」と回答した割合は5.0%で、前回調査（5.6%）と比較し0.6ポイント低くなりました。



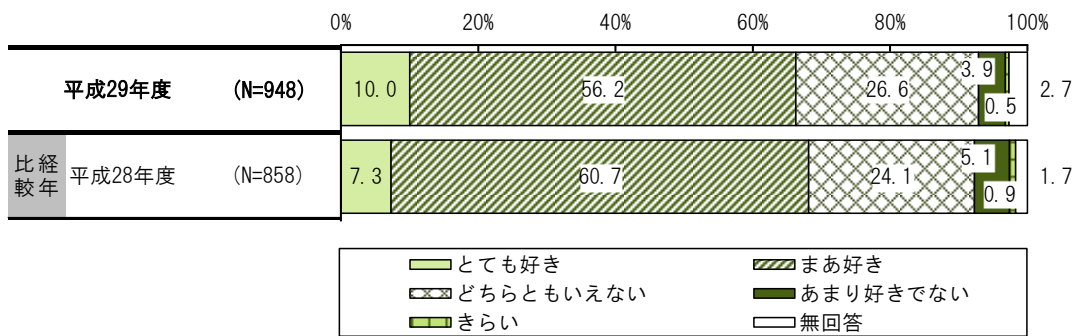
※県内他市調査結果（参考）

- ・ 静岡市…『住み続けたい』：91.7%(H28)
「あなたは、これからも静岡市に住み続けたいと思いますか。」
「そう思う」68.5%「ある程度、そう思う」23.2%
- ・ 藤枝市…『住み続けたい』：90.1%(H26)
「これからも、現在の場所に住み続けたいと思いますか。」
「住み続けたい」81.3%「できれば転居したい（市内に）」8.8%
- ・ 掛川市…『住み続けたい』：86.6%(H29)
「今のところにずっと住み続けたい」78.5%「市内の別の場所に移り住みたい」8.1%

✓『島田市のことが好き』と回答した割合は66.2%で、前回調査（68.0%）と比較し1.8ポイント減少しました。【問10】

「とても好き」10.0%、「まあ好き」56.2%を合わせると66.2%となり、前回調査（68.0%）と比較し1.8ポイント低くなりました。

「とても好き」の割合は、前回調査から増加し、「きれい」の割合は、前回調査から減少しています。



●島田市の取組に対する満足度と重要度について（報告書 p.26～）

✓満足度（点数）が高いのは、5年連続で「ごみ・リサイクル対策」（第1位）、「健康の増進」（第2位）です。【問11】

✓重要度（点数）が高いのは、5年連続で「医療の充実」（第1位）です。【問12】

順位	満足度	重要度
第1位	ごみ・リサイクル対策	医療の充実
第2位	健康の増進（健康診断や予防対策）	高齢者の医療・介護・福祉の充実
第3位	主要な道路の整備	地震・水害など災害に強いまちづくり

✓満足度が低く重要度が高い「重点取組エリア」に属しているのは以下の14項目です。

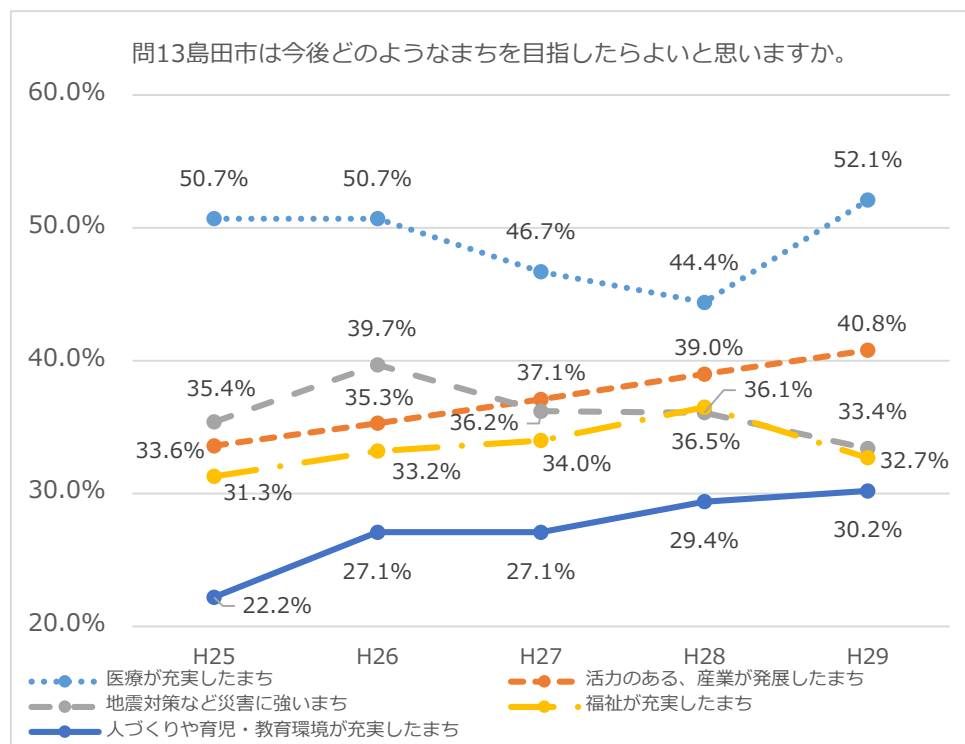
<p><都市・生活基盤について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・（2）生活に密着した道路の整備と維持管理 ・（3）公共交通機関の充実 ・ <u>（4）計画的な土地利用の推進</u> 	<p><産業の振興について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>（14）特産品・地場産業の振興</u> ・ <u>（16）企業への支援や誘致などの工業振興</u> ・（17）雇用の確保・勤労者福祉の充実 ・（18）魅力ある商店街づくりなどの商業振興 ・（19）まちの拠点としての駅周辺整備
<p><健康・福祉・医療について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・（23）高齢者も医療・介護・福祉の充実 ・（24）障害者が生活しやすい環境づくり ・（26）医療の充実 ・（27）安心できる消費生活の実現 	<p><教育・文化について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・（34）高等教育の充実 <p><市民参加・協働について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・（44）市の財政の健全運営

※赤字・下線は、平成29年度新たに「重点取組エリア」に属することとなった取組。

●今後の市政の取り組みについて（報告書 p.82～）

✓上位5項目（「医療が充実したまち」、「活力のある、産業が発展したまち」、「地震対策など災害に強いまち」、「福祉が充実したまち」、「人づくりや育児・教育環境が充実したまち」）は、平成26年度から一貫して、上位を占めています。【問13】

「医療が充実したまち」と回答した割合は52.1%となり5年連続で第1位となっています。第2位の「活力ある、産業が発展したまち」（40.8%）、第5位の「人づくりや育児・教育環境が充実したまち」（30.2%）は、5年連続で増加傾向を示しています。



●市民協働の取り組みについて（報告書 p.84～）

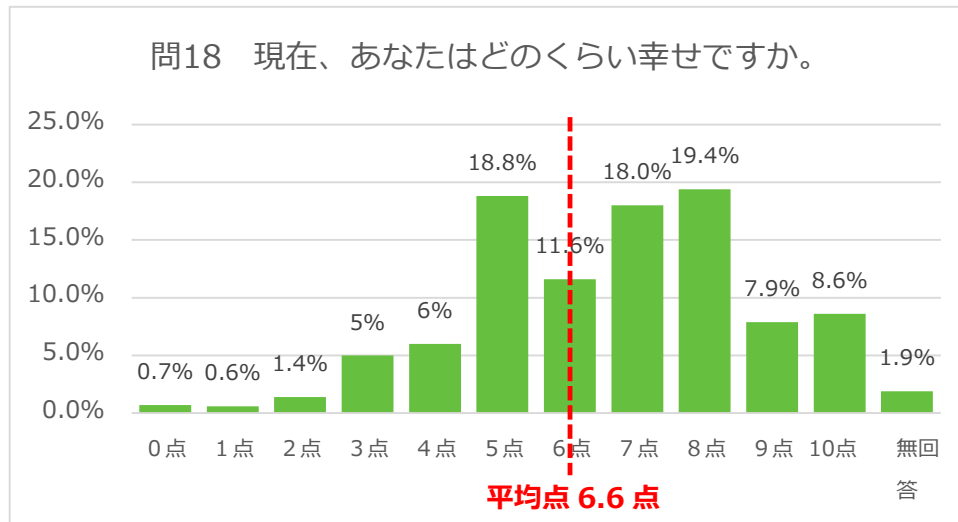
✓これからのまちづくりを進めていくうえで、必要だと思う事項は「市民と行政との交流や意見交換する機会」が最も高いが、前回調査（47.6%）と比較し4.1ポイント減少しました【問17】

「市民と行政との交流や意見交換する機会」と回答した割合は43.5%となり2年連続で第1位となっています。第2位「まちづくりの中心となる担い手、人材」（39.6%）、第3位の「まちづくりや計画づくりに市民が参加する機会」（30.0%）は、平成28年度と比べ、順位が入れ替わっています。

順位	平成29度	平成28度
第1位	市民と行政との交流や意見交換する機会（43.5%）	市民と行政との交流や意見交換する機会（47.6%）
第2位	まちづくりの中心となる担い手、人材（39.6%）	まちづくりや計画づくりに市民が参加する機会（36.2%）
第3位	まちづくりや計画づくりに市民が参加する機会（30.0%）	まちづくりの中心となる担い手、人材（34.1%）

●市民の幸福感について（報告書 p.87～）

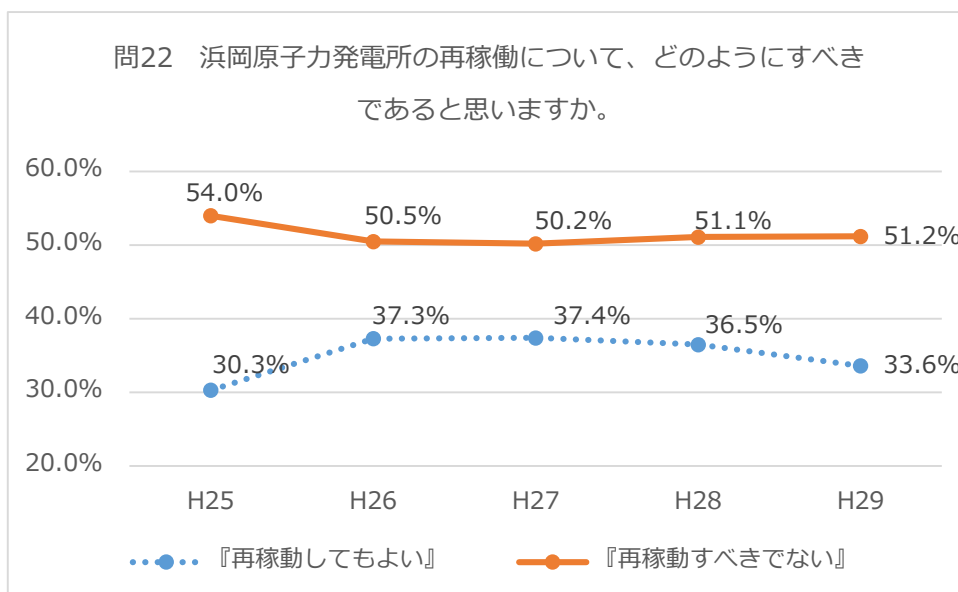
✓市民の幸福感を点数化すると、平均6.6点/10点満点（全国平均6.4点）で、過年度と比較しほぼ横ばいとなりました。なお、回答のばらつき（分散）は、例年並みで、平均点を境に前後の得点、5点、7点、8点に集団がまとまる傾向が継続しています。【問19】



✓幸せであるために重要な事項については、上位から「健康状況」「家計の状況（所得・消費）」「家族関係」「精神的なゆとり」「友人関係」で、平成25年度調査以降、上位5項目に差異はありません。

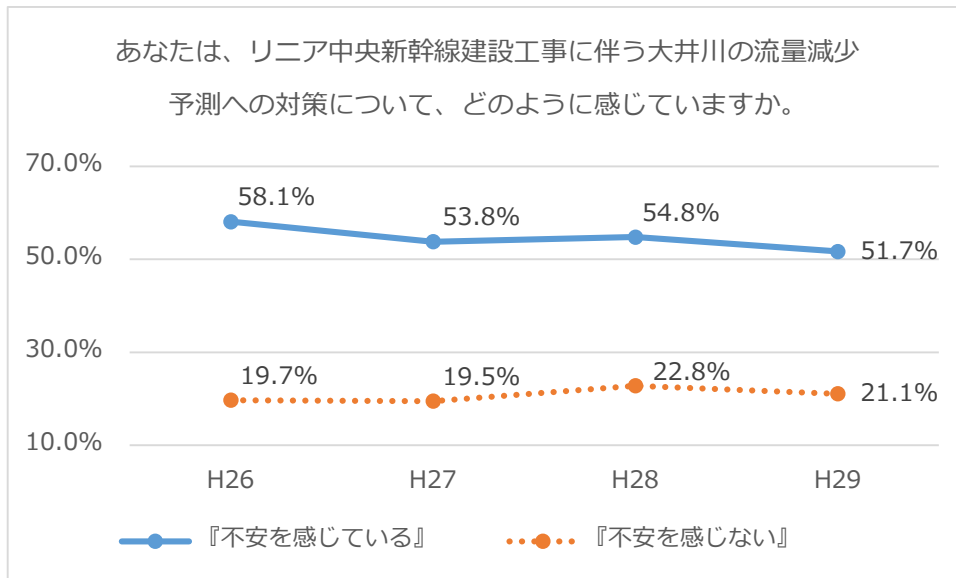
●浜岡原子力発電所について（報告書 p.93～）

✓『再稼動してもよい』と回答した割合は33.6%、『再稼動すべきでない』と回答した割合は51.2%となり、横ばいで推移しています。【問23】



●リニア中央新幹線の建設工事について（報告書 p.95～）

✓『不安を感じている』と回答した割合は51.7%、『不安を感じない』と回答した割合は21.1%となり、横ばいで推移しています。【問25】



●国土強靱化地域計画について（報告書 p.96～）

✓認知度については、『ある程度内容を知っている』と回答した割合は16.4%、『今まで知らなかった』と回答した割合は77.6%となりました。関心度については、『関心がある』と回答した割合は63.8%となっています。【問25】（平成29年度新規）

認知度に対し、高い関心度となっています。

